

課題解決のための「見える化」。物流業界の未来をつなぐデジタル改革

－SmaRyuTruckインタビュー第2弾・株式会社ジャスト・カーゴー



運送会社のデジタル化をサポートするSmaRyu Truck。
このサービスを活用いただき業務の改善・デジタル化に取り組む運送会社へのインタビュー。
第2弾は、株式会社ジャスト・カーゴ様です。

北海道石狩市に本社を構え全国に拠点を展開する同社から、業界の未来を繋ぐために欠かせない「デジタル化」の課題と今後の自社の課題について、お話を聞かせていただきました。

▼SmaRyu Truckに関する問い合わせはコチラの画像をクリック！▼

運送会社向け業務支援システム 4%

SmaRyu Truck

日々の運行業務を可視化して、ペーパーレスで簡単に。
限られた工数で最大の売上を実現する。

[📄](#)

特筆すべきは、細やかなフォローと改善力



(本社長 清野様)

当社では以前より社内業務のデジタル化に注力してきました。運送会社用の業務システムを作れないか、倉庫の中の商品をバーコードラベルで管理できないか…。他にも様々なバックオフィス業務のシステム化を目指し、社内で考えるだけでなく、IT業界の人が集まるカンファレンスに出席して意見をいただいたりもしていました。

CBcloudと初めて話をしたのは、まさにそういった取り組みを進めている最中のことでした。

とある荷主さんから「物流業界のシステム化に特化した、面白い会社がありますよ」と勧めていただいたのがきっかけです。

話してみてもすぐに意気投合し、まずは長野と群馬の営業所での3ヶ月のトライアル期間を、ということになりました。

正式な導入の決め手は、細やかなフォロー体制です。

トライアル当初は慣れないデジタル環境ということもあり、つまづくところが多々ありました。ですが都度サポートに入ってくれるだけでなく、「こうなったら使いやすいのにな」をCBcloudに伝えるとすぐに改善してもらえたのには驚きました。結果として大きなトラブルもなく順調に導入を進められたので、これはいけるぞ、と正式導入に至りました。

バックオフィスの効率化を目指して。SmaRyu Truckが開拓する「一気通貫の未来」

SmaRyu Truckを入れて良かった点は、紙ベースの管理がなくなった、記録をデータで持つておけるようになったなど様々に感じていますが、一番大きいのは請求書をSmaRyu Truck上で自動発行できるようになったことですね。

今までは取引先にエクセルでデータをもらい、その情報を手打ちして請求書を発行して、営業所と本社で共有し...という複雑な業務が発生していたのですが、それが全部なくなったんです。これには非常に感動しましたし、SmaRyu Truckというプロダクトの可能性を感じました。

今後はSmaRyu Truckの端末を有効活用することで、配車・請求以外の「日々の業務」もさらに効率化できるようになることを期待しています。

今はまだ会計・給与計算などのバックオフィスの部分はパッケージで売っているシステムをそれぞれカスタマイズして利用していますが、CBcloudの開発力があれば、バックオフィスは一気通貫できる時代が遠からず訪れる確信があります。

課題解決の鍵を握るのは「見える化」

さらに欲を言うと、将来的には自動配車システムができるといいな、と。

現状の配車の仕組みでは、配車担当者の采配が企業の利益を左右してしまうので、配車は熟練者でないとできない業務になってしまっています。それをシステム化することで、「誰でもできる」業務にしたい。

物流業界は今後、見える化が一層重要になってくるはずです。例えば戻り便をより効率的に使うことで、空車率だけでなく人手不足の問題も解消できる。そのためにはデジタル化を進めて、業者間の見える化を強化する必要があります。

旅行サイトのように一目で空車情報が確認できるシステムができるといいんですが、物流は車種・トン数、倉庫のスペックなど変数が多く、すぐには難しいでしょう。

これらの課題については、CBcloudと手を組んで前向きに取り組んでいきたいです。

CBcloudからもこのうちのいくつかは検討が進んでいると聞いていますので、楽しみにしています！

若い世代にも働きやすい環境を提供するために

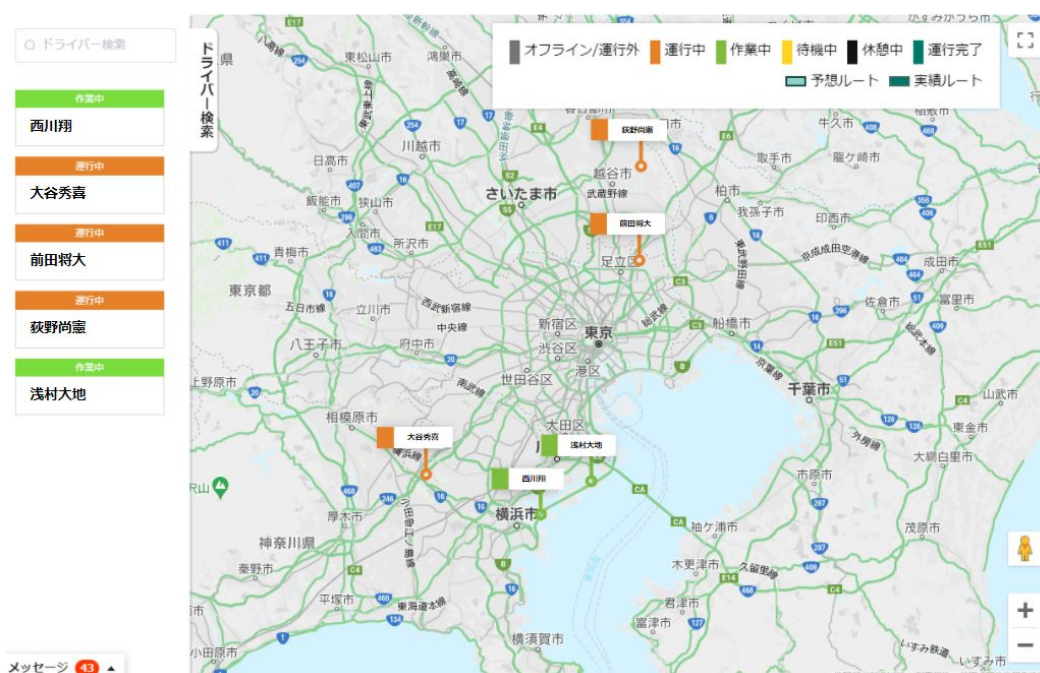
(長野営業所 梅本所長)

もともと長野営業所は、車が10数台と少ないこともあって配車表が存在しなかったんです。

とにかく電話で連絡してひたすら回すという、とても原始的な作業をしていました。そこに突然デジタル機器が導入されるわけですから、最初は現場からやはり「打ち込み方がわからない、操作法が慣れない」という声も多少ありました。ですがそれもほんの初期だけで、SmaRyu Truckが使いやすくわかりやすいシステムだったので、すぐにみんな慣れてくれましたね。

SmaRyu Truckでスケジュールが可視化されたことについては、最初から非常に好評でした。パソコンからドライバーの出発時間が確認できるようになるのは、かなり大きな利点です。

車両によってはGPSのついていないデジタコやアナタコを使っているケースもあるので、時間だけでなく、マップでドライバーの位置がわかるのが助かります。



※画面はサンプルです

そうやって最初は運行管理から使い始めて少しずつ慣らしながら、徐々にSmaRyu Truckの守備範囲を広げていきました。

ついに**2020年9月、初めて請求書の発行までSmaRyu Truck上でできたときには、みんなでちょっとしたお祭り状態でした。感動しましたね（笑）**

業界全体が採用難と言われている物流業界ですが、SmaRyu Truckを筆頭に様々なシステムを組み合わせることで業務を効率化していくことで、若い世代の人たちにも働きやすい環境を提供していきたいです。

そのためにも、今後SmaRyuTruckにはさらなる進化を期待しています。

▼SmaRyu Truckに関する問い合わせはコチラの画像をクリック！▼



運送会社向け業務支援システム 4%

SmaRyu Truck

日々の運行業務を可視化して、ペーパーレスで簡単に。
限られた工数で最大の売上を実現する。

[📧](#)

The image is a promotional banner for SmaRyu Truck. It features a dark background with a person working at a computer. The text is white and green. The main title 'SmaRyu Truck' is in a large, bold font. Below it, there is a subtitle and a description of the system's benefits. A green button with a mail icon is located in the bottom right corner.